



中村大地さん

輝く酪農後継者

本場・北海道で第2位
ヤングブリーダーカップと
リードマンコンテスト

酪農の本場、北海道のホルスタインナショナルショウで中村大地さん（大沢・盛岡農高3年）は、小学校高学年以上高校生以下が所有牛を引く「ヤングブリーダーカップ」で、リザーブチャンピオン（総合2位）に、リードマンコンテスト高校3年生の部でも、出場16人中見事に第2位に輝きました。9月3日、葛巻ジュニアホルスタインクラブの研修で参加したこの大会で、並み居る本場の後継者らを押し越えての表彰台。「本場で認められたことで自信につながる。高校卒業後は北海道の学校でもっと酪農の知識と技術を学びたい」と意気込む中村さんは、3年前の中学3年生で臨んだリードマンコンテストでの1位に続く入賞で、酪農の町くずまきの輝く後継者です。

共 進 会

共進会は、牛の改良の成果を競い合うものです。特にホルスタイン種は、質の良い牛乳をたくさん出す牛が良いとされています。このため酪農家では、少しでも能力の高い牛を育てるため、牛の体型はもちろん、日ごろから餌の管理や牛舎の環境に気を配っています。

このような努力が実って、葛巻の乳牛は県内でもトップレベルの能力を維持していて、岩手県畜産共進会では、出品牛の約3分の1が葛巻の牛、さらに入賞牛10頭のうち6頭が葛巻の牛という結果を残しています。

また、共進会は酪農家の交流の場としても重要な役割を果たしています。乳牛の改良以外にも酪農経営に関する情報交換などが行われ、若手酪農家の育成の場となっているのです。

こうした活動の積み重ねによって、厳しい酪農情勢が続く中であっても、今、葛巻では後継者が確実に育っています。

県畜産共進会

八幡勝幸さんダブルで名誉賞

9月3日に栗石町のJA全農いわて中央家畜市場で開かれた第53回岩手県畜産共進会で、八幡勝幸さん所有牛がホルスタイン種の未経産と経産の部で最高位の名誉賞に輝きました。個人でのダブル受賞は、町内ではもとより県内でも初めてとあって、乳牛改良に切磋琢磨する酪農関係者など喜びに沸いています。



乳牛改良で町の誇りまたひとつ

◎八幡勝幸 / やはた・かつゆき
昭和42年赤井田生まれ。県立盛岡農業高校で畜産を学ぶ。盛岡市で2年間の会社勤務を経て就農。妻・与志子さんと長男・求夢くん(12)、長女・櫻ちゃん(10)、2女・椿ちゃん(7)の5人暮らし。近くに暮らす両親の力も借りて成牛60頭、育成40頭の大規模酪農を経営。平成19年3月からは町の乳牛改良同志会長も務める。



3人の子どもたち全員が自分の牛を育てている八幡牧場。仕事の合間に牛の調整に足を運ぶ酒多利明さん（左から2人目）

町ホルスタイン共進会



より美しく見せるため出番直前まで続く牛のコーディネート

名誉賞

折元大樹さん（未経産牛の部）
漆真下孝幸さん（経産牛の部）

第55回町ホルスタイン共進会は秋晴れの9月19日、江刈共進会場で開催されました。町内の酪農家が手塩に掛けて育てた自慢の牛87頭を出品。北海道の酪農家・松原秀雄さんが審査の結果、名誉賞に未経産牛の部は折元大樹さん（遠矢場）、経産牛の部は漆真下孝幸さん（大沢）の所有牛が輝きました。会場ではジュニアホルスタインクラブの会員が牛を引くジュニアの部が人気の的。誇らしげに手綱さばきを見せる子や孫らの姿に声援を送る人たちににぎわいました。

審査長の高橋喜和夫さん（盛岡地方振興局農政部長）は「葛巻の改良技術は申し分なし。引き続き努力を重ね、さらに安定経営を」と、高い評価をしました。



藤岡俊策さんの牛を引いてベストリードマン賞第1位に輝いた岩泉春佳さん（江刈小5年）。「練習は1回だけ。緊張しました」と春佳さん

ジュニアの部のリードマンは、頼もしい後継者たち



町内の金賞1席入賞者

| 部門 | 区分 | 出品者 |
|-----|------|--------------------|
| 未経産 | 第1部 | 12～14ヵ月未満 中村優 |
| | 第3部 | 16～18ヵ月未満 八幡勝幸 |
| 経産 | 第7部 | 30～36ヵ月未満 漆真下孝幸 |
| | 第8部 | 3歳～4歳未満 八幡勝幸 |
| | 第9部 | 4歳～5歳未満 漆真下孝幸 |
| | 第10部 | 5歳以上 折元大樹 |

応援してくれたすべての人に感謝

「感極まって、涙をこらえるのがやっ」とでした。いつも笑顔の絶えない八幡勝幸さんが、珍しく硬い表情を見せたのは岩手県畜産共進会の表彰式だ。「えっ、本当に？」と思わぬダブル受賞にしばし耳を疑ったと八幡さん。就農22年目でやっと手にした「チャンピオン」の瞬間をこう語った。「応援してくれたすべての人たちのおかげ。感謝の気持ちでいっぱいです」と込み上げる感動を素直に語る姿は、晴れ晴れと、そして満足そうだ。「自分に足りないところを補ってくれる人がたくさんいて、幸せ者ですよ」と目を細めた。人工授精師で義弟の酒多利明さん（大沢）は牛のいわばスタイリスト。牛を洗って、毛並みを整え、歩き方の指導などより美しく見せる技術は天下一品。仕事の合間に八幡牧場へ通い詰めて共進会に備えた。また、常に乳牛改良のトップにいる多くの先輩の方々に教えを受けた。中でも同級生ながら兄のような存在でもあるという中六角保広さん（中村）に学ぶことが多かったという。どんなことでもストリートに聞くことが出来る大きな存在だ。「ハちゃん（中六角さん）には首を横に振れない」と全幅の信頼を寄せる。勝幸さんが小学校一年生のとき、今は亡き祖父の大吉さんから牛一頭をもらったのが酪農人生のスタート。昭和52年度に父武雄さんが岩手県内で始めて日本農業賞を受賞した。勝幸さんが10歳の時だ。傾斜度30度前後という北上山系特有の悪条件を創意と工夫で克服しての入賞。あれから32年。今度は勝幸さんが乳牛改良の腕を磨いて快挙を成し遂げた。「妻には感謝です」と照れくさそうに笑った。

審査結果（金賞1席の受賞者）

| 部門 | 区分 | 出品者 | 支部 | 賞 | |
|------|--------|------------|-------|----|-----|
| 未経産牛 | ジュニアの部 | 10ヵ月未満 | 藤岡俊策 | 葛巻 | |
| | 第1部 | 10～12ヵ月未満 | 酒多利明 | 葛巻 | |
| | 第2部 | 12～16ヵ月未満 | 中村優 | 江刈 | 名誉賞 |
| | 第3部 | 16～20ヵ月未満 | 折元大樹 | 江刈 | |
| 経産牛 | 第4部 | 20～24ヵ月未満 | 酒多利明 | 葛巻 | |
| | 第5部 | 2歳6ヵ月未満 | 鈴木茂幸 | 葛巻 | |
| | 第6部 | 2歳6ヵ月～3歳未満 | 近藤孝志 | 江刈 | |
| | 第7部 | 3歳～3歳6ヵ月未満 | 中六角保広 | 江刈 | |
| | 第8部 | 3歳6ヵ月～4歳未満 | 漆真下孝幸 | 江刈 | |
| | 第9部 | 4歳～5歳未満 | 漆真下孝幸 | 江刈 | 名誉賞 |
| | 第10部 | 5歳以上 | 藤岡俊策 | 葛巻 | |
| 第11部 | 牧場牛群 | 漆真下孝幸 | 江刈 | | |